



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2024
3月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

第8回「全国栄養経営士のつどい」開催 全国から栄養経営士が東京に集結!

発表者の熱い思いと参加者の熱意で 会場が一体になった全国大会

第8回「全国栄養経営士のつどい」東京大会は2024年3月9日(土)に秋葉原UDX Room(東京都千代田区)で行われた。今大会は現地会場メインで開催し、会場参加者たちは登壇者の発表に真摯に聞き入っていた。

在宅、地域での管理栄養士の役割が増大

第8回を迎えた「全国栄養経営士のつどい」は宮澤靖代表理事と秋山和宏副代表理事と兼関東支部支部長のあいさつではじまった。ひさしぶりの会場メイでの開催に、宮澤代表理事は「顔と顔を合わせて学びを深めることはとても貴重な体験。ぜひ会場の仲間と交流し、自身の成長につなげて欲しい」と語った。



関東支部支部長として秋山和宏副代表理事も登壇



開会のあいさつをする宮澤靖代表理事

最初の特別講演は厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室室長補佐の須永将広氏が「第8次医療計画が示す方向性と管理栄養士に求められる役割」のテーマで登壇。はじめに医療提供体制を取り巻く状況として、労働人口の減少や高齢者の増加、それに伴う医療需要の変化について説明した。

次に、第8次医療計画のポイントを提示し、今後増加していくと見られている在宅医療について詳しく紹介した。そのなかで、訪問診療では他職種に比べ栄養指導が低調であること指摘。「今後は在宅を支える栄養指導、栄養管理が管理栄養士の役割として大きくなっていく」と話し、「急性期の医療機関は在宅の医療機関に向けしっかりと情報提供して欲しい」と呼びかけた。



在宅での栄養の重要性を説く須永将広氏

その後は在宅医療の体制整備について、人材養成や支援事業について紹介、BCPの研修については「厚労省のサイトに良いテキストがあり無料でダウンロードできるので利用して」と情報を伝えた。最後に医療提供体制改革に関する今後のスケジュールを簡単に紹介し「2024年春を皮切りにさまざまな施策がスタートしていくことを知っておいて欲しい」と語り、講演を終了した。

次に、大会のメインである「栄養経営士による現場報告」が行われた。今大会では4名の栄養経営士が登壇し、急性期病院・給食受託会社・クリニックや介護施設等で地域医療を支える医療法人・特別養護老人ホームと、背景がまったく違う発表者が集まった。

最初に登壇した医療法人深仁会手稲深仁会病院栄養部の須藤瑠衣さんは「食事オーダーに関する食事プロトコールを導入することで、医師の負担軽減につながるのではと考え、一部診療科でテスト導入した結果を報告した。食事が病態に重篤な影響を与えないと判断された患者に適切なところ、医師・看護師とともに食事に関する不安や負担が改善、タスクシフト・タスクシェアにつながったほか、管理栄養士の困りごと

も解消されたという。今後はこれを全診療科に広げていきたいと語り、発表を終えた。

二人目は株式会社日本栄養給食協会栄養部の小林祐貴さん。「給食受託会社における栄養士育成と栄養管理の質向上のために」のテーマで、自身が手掛けているスタッフ育成について発表した。小林さんは「自立している」「病院を任せられる」を目標に管理栄養士・栄養士の育成を進めている。カリキュラムを四段階に分けて進めているが「今までやってきたことを変える」というスタッフの意識改革が難しく、時間がかかる課題であると説明。現在はまだ1病院だけで行っているが、ここでの取り組みがうまくいけばカリキュラムを会社全体に広げていきたいと展望を語った。



須藤瑠衣さんは食事プロトコールについて発表

三人目は石川県から参加した、クリニックや訪問看護等で地域医療を支える医療法人社団KaNaDeの荒川和世さんで、テーマは「令和6年能登半島地震による被災者(要介護者)の受け入れについて」。今年元日に発生した能登半島の震災について、現地の様子を写真で紹介するとともに、要介護の被災者を施設で受け入れた状況を説明した。

復旧の遅れについて、荒川さんは能登半島の先端に向かう一本しかない幹線道路が分断されただけでなく、能登の我慢強い人柄もあって被害が表に出にくいのではないかと語り、いまなお続く被災状況を伝えた。



社内で栄養士育成に取り組む小林祐貴さん

震災後、荒川さんは看護小規模多機能型居宅介護と同居型有料老人ホームを併設した施設で、被災者である医療的ケアが必要な高齢

のがん患者の受け入れを行った。今までに6名を受け入れ、2名が退所、2名をお看取りして現在も2名が入所しているという。同じ被災者を受け入れて

の時間も増えたものの、利用者からは「味が変わった」等の声が届いていると紹介。しかし「食事サービスを止めないことが重要」と考え、今までの体制

最後は社会福祉法人熊本菊寿会特別養護老人ホームさわらび栄養科の井原香織さんで、「食事提供方式変更への取り組み」をテーマにZoomで発表した。

どの栄養経営士の発表も、その施設ならではの課題とそれに対する取り組みが語られ、聞いている参加者が真剣な顔でメモを取り、質問する姿が印象的だった。

当初、クックチル方式だった給食を差別化のため段階的にクックサーブ方式に変えたものの、人員不足により厨房業務に時間を割かれて管理栄養士としての仕事ができなくなり、見直しを決意。完調品を利用した食事提供に変えるため、施設内で説明会や試食会を多職種と行い、導入が決定したという。

次回も、一人でも多くの栄養経営士がそれぞれの現場で行っている取り組みや課題について発表していただければと思う。



被災者受け入れの状況を語る荒川和世さん



座長を務めた山下茂子理事(右)と眞壁昇理事



熊本からZoomで参加した井原香織さん

被災地の状況から万に必要の備えを知る 午後からは「令和6年能登半島地震の経験から栄養経営士へ伝えたいこと」と題し、本協会の吉田貞夫副代表理事と、富山大学附属病院栄養部副部長・栄養管理室長の甲村亮二北陸支部理事が登壇した。

はじめに、吉田理事が沖繩のJMAT(日本医師会災害医療チーム)で能登半島に派遣されたときの様子を多数の写真とともに紹介した。各県から派遣されたチームと引継ぎを行いなから、限られた医療資材と不便な環境で患者や被災者と向き合ったという話は、経験者だから語れる貴重な内容であった。

次に、甲村理事が「能登半島沖地震における対応について」という題で発表した。災害対策に力を入れていたという名古屋出身の甲村理事は、富山大学付属病院に着任後、災害対策の見直しを実施。備蓄食料の種類や備蓄場所・保管方法等で実際に行っている対策を説明した。

発表の後半では、実際に地震が起きた際に病院でどう対応したのかを紹介した。被害は大きくなかったものの情報の混乱があり、元日という一番情報が得にくい日で苦労したと話した。現在は被災患者の受け入れを行っており、後方支援も重要な災害援助活動で、そのための体制づくりも重要であると説いた。

その後は吉田理事が聞き手となり、甲村理事と対談形式で震災とその対応について語りあった。

震災後初期には、状況を把握していないために行政が必要な支援を断ってしまったという話、管理栄養士で派遣されたのに食事の温めくらししかできなかったりと、情報収集・情報伝達がうまくいっていないという。震災時にどういった情報をどこに伝えるのか、有事を見越して準備しておくことがいかに重要かわかる対談であった。

はじめに、宮澤代表理事が佐藤氏に病院の経営部門として、事務部長として、また医療経営士として栄養部門をどう見ているのかを質問した。佐藤氏は「改定のために管理栄養士の役割がどんどん重要視されている。医療経営士としては、管理栄養士にはそのあたりをしっかりと対応して欲しいと思う。また、当院は慢性期なので、透析の予防やリハなどについて管理栄養士が絡む加算をしっかり取って欲しいというのが経営側としての感想。事務部長としては、当院の管理栄養士は2名と少ないが、他職種と一番関わる部門なので、経営を考えるとよく意見を聞いている」と回答した。

座談会後半では給食費のコストについて語った。委託先からの値上げ要求があったか

座談会後半では給食費のコストについて語った。委託先からの値上げ要求があったか

どうかの問いに田中理事は「診療報酬で上がる分と合わせた感じでの値上げの要求があったが、一つひとつ確認して、これはと思うところは指摘して、事務長に提出する前に一度差し戻しになった」と回答し「今後は企業とコラボしながら、余った食材を活用してコストを下げられないかといった検討をしている」と伝えた。

齊藤氏の病院はセントラルキッチンからトレイメイクされた状態で運ばれるため配送料が上乗せになるが「参画病院の増加や積載量の大きなトラックへの変更等で上げ幅を圧縮した」と説明した。

会場からは「骨なしの魚を骨付きに変える、高騰した魚を輸入の白身魚に変える、地元企業の豆腐を冷凍の厚揚げに変える等で対

座談会終了後は、吉田副代表理事が閉会のあいさつを行い、次回も多く参加者・発表者が集まることを願って今回の「つどい」が終了した。

座談会終了後は、吉田副代表理事が閉会のあいさつを行い、次回も多く参加者・発表者が集まることを願って今回の「つどい」が終了した。

座談会終了後は、吉田副代表理事が閉会のあいさつを行い、次回も多く参加者・発表者が集まることを願って今回の「つどい」が終了した。



座長を務めた宮澤代表理事(右)と田中智美理事



医療経営士として語る佐藤林太郎氏(左)と栄養経営士の齊藤大蔵氏

第8回「全国栄養経営士のつどい」東京大会 栄養経営士による実践報告・発表者からのメッセージ

●報告テーマ

食事オーダーに関する食事プロトコル導入 ～タスクシフト・タスクシェアへの貢献～



医療法人 湊仁会 手稲湊仁会病院 栄養部 主任 **須藤 瑠衣**さん

今回は発表の機会を与えていただき、関係者の皆様に感謝申し上げます。
食事プロトコルについてのデータ収集を通して、多職種の考えや管理栄養士に期待していることも含めて確認することが出来ました。多職種協働による強みを生かし、これからは患者さんにとってより良い栄養療法につながる取り組みを実施していくよう努めて参ります。また、「つどい」への参加を通じ、在宅医療や災害においての自治体との連携、病院経営についても学びを深めることができました。さらに、栄養経営士の方々と情報交換ができたことがとても嬉しくそれが私のエネルギー源となりました。マネジメント力を磨いてまた「つどい」に参加したいです。ありがとうございました。

●報告テーマ

給食受託会社における栄養士育成 ～栄養管理の質向上のために～



株式会社日本栄養給食協会 栄養部 **小林 祐貴**さん

給食受託会社での栄養士育成について発表する機会をいただき、ありがとうございました。今回の「栄養経営士のつどい」を通し、今後の育成や給食管理の在り方を考え直すきっかけになりました。

弊社の栄養士育成は模索している段階のため、課題が目立つ発表内容でした。栄養管理と給食管理の格差が生じていますが、切り離すことは出来ません。給食管理が土台となり、栄養管理の質を向上させるため、給食受託会社も進化しなければならないと改めて感じました。「栄養管理を支える給食管理の実現」を目標に掲げ、同じ思いを持った管理栄養士・栄養士を給食受託会社に多く育成したいと思います。いつかまた実践報告ができるよう、気づきを大切に日々精進してまいります。

●報告テーマ

令和6年能登半島地震による被災者 (要介護者)の受け入れについて



医療法人社団KaNaDe **荒川 和世**さん

令和6年能登半島地震により、小さい施設ではありますが福祉避難所として被災者の受け入れ状況をお知らせしたく発表の機会を頂きました。

同じ県ですが、当法人の所在する金沢市では地震の被害も少なく、業務に就いていることから現地での支援ができずもどかしい思いもありました。

行政より定員増での受け入れ要請もあり、当法人の特徴として医療依存度の高い被災者を受け入れることとしました。被害状況を含めての報告は伝えたいことがあり過ぎて時間超過となりましたが、発表を終えて皆さんから被害状況がわかったとの声を頂きました。

今後もまだ続く状況に一人でも多くの方の一助となれるよう努めていきたいと思っております。

●報告テーマ

食事提供方式変更への取り組み



社会福祉法人熊本菊寿会 特別養護老人ホームさわらび 栄養科 主任 **井原 香織**さん

このたびは貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。
栄養経営士として、胸を張ってお伝えできる様な活動ができているのか、不安ではありましたが、とくに働き手の少なくなっている地方部では、人材の確保が非常に厳しいという実状が少しでも伝われば、という思いで挑ませていただきました。

食事は生きていく上で欠かせないものであり、これをアピールの一つとして掲げている事業所も多いと思います。かつ、ぬくもりを感じる手作り食に勝るものはありません。ですが、このサービスを続けることが難しいのであれば、完調品を一つの手段として利用し、働きやすい環境に整え、人材を確保しやすい条件をつくることも可能かと思っております。

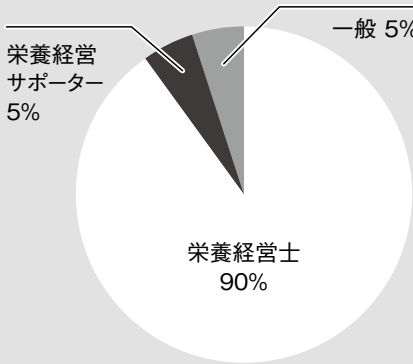
今ある資材を最大限に活用し、足りない部分を何で補うか、試行錯誤しながら進めていきたいと思っております。

※順不同

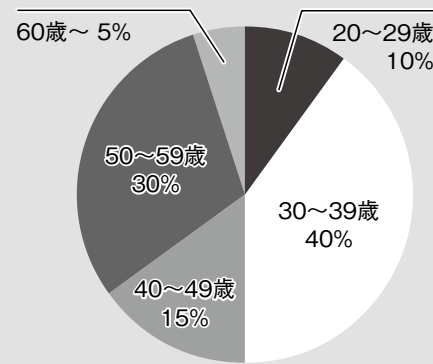
会場参加者アンケート結果報告

会場参加のみなさんからいただいたアンケート結果と生の声をお届けします！

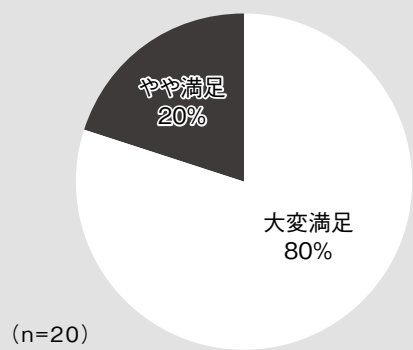
■会場参加者の内訳



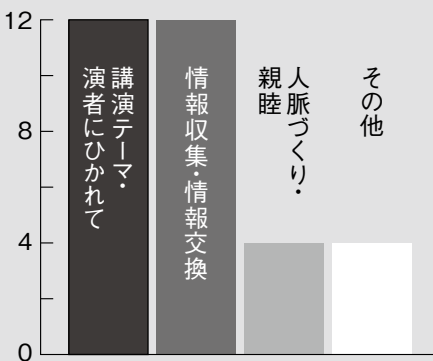
■会場参加者の年齢



■「つどい」の満足度



■参加の目的・動機 (複数回答可)



参加者の声

- ・いつも私に不足する視点を教えていただいていると思います。演者の先生方の熱いお話し、言葉を業務に活かしていきたいと思っております。
- ・皆様の頑張りに大変刺激を受けました。現状に満足せず取り組む姿勢にこれからの自分に足りないものを感じることができました。
- ・活発な意見交換とても学びになりました。
- ・初めての参加ですが、非常にためになりました。
- ・普段お話しする機会のない先生方とお話しできて自分の刺激になりました。
- ・とくに実践報告では、自施設でも起こり得ること、また日常業務の課題解決につながるような勉強となる興味深い内容で、拝聴できてありがたかったです。
- ・他分野でのお話を聞くことができ、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。
- ・多様な実践報告がすぐに参考になる内容で、大変有意義でした。
- ・他施設の取り組みが大変参考になりました。



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

東北支部研究会

第21回みやぎ仙台ネットワーク ニュークックチル導入の道なり

食材費、水道光熱費、物流コストの高騰が続ぎ、生産人口の減少に伴い人材確保も難しくなっていますが、病院給食は患者さんのQOLの観点からも非常に大切な要素です。みんなで持続可能な病院給食運営について考えましょう。

- 日 程：2024年4月12日(金) 19:00~20:30
- 講 師：丹野千佳氏(医療法人岩切病院 管理栄養科)
片倉貴之氏(医療法人岩切病院 MIT管理部)
- 方 式：オンライン(Zoom)※グループワークあり
- 参加費：なし
※医療関連企業に所属の方は医療経営士、栄養経営士/サポーターのみ
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 東北支社(三浦)
TEL：022-281-8536



セミナー情報

栄養の未来を語り合う新しい学びの場 宮澤塾 ~人を学ぶ 人に学ぶ 人と学ぶ~

本協会の宮澤靖代表理事のこれまでの生き方や仕事への考え方にふれ、人間としての魅力を感じながら、自分自身を成長させていく場として、新たに「宮澤塾」が開設されます。知識や技術を超えた、ここでしか得られない学びをぜひ体感してください。

- 日 程：2024年4月9日(火)~9月4日(水) 18:00~20:00
- 講 師：宮澤靖氏
(東京医科大学病院 栄養管理科 科長/日本栄養経営実践協会 代表理事)
- 会 場：日本医療企画セミナールーム(中央区八丁堀3-20-5 S-GATE 八丁堀9階)
- 参加費：【会員】全6回:40,000円 各回:10,000円
- 定 員：12名
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 宮澤塾事務局
TEL：03-3553-2863



学会情報

第127回日本小児科学会学術集会

「Bright futures to your birth! 君の誕生に輝かしい未来を!」をテーマに、福岡の会場とオンラインのハイブリッドで開催されます。

- 日 程：2024年4月19日(金)~21日(日)
- 会 頭：大賀正一氏(九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野)
- 会 場：ヒルトン福岡シーホーク(福岡市中央区地行浜2-2-3)ほか
- 参加費：【メディカルスタッフ】
(~4/8 AM)5,000円、(4/8 PM~)6,000円
【一般】
(~4/8 AM)13,000円、(4/8 PM~)15,000円
- お問い合わせ：日本コンベンションサービス株式会社
E-mail：127jps@convention.co.jp



協会事務局より

2024年4月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内をメールでお送りしております。期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ手続きを受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※用紙での手続きを希望される方は、事務局までご連絡ください。

- 年度会費：有効期限が2023年4月20日~2024年4月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2021年4月20日~2024年4月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL：03-3553-2903

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で受講できます!

(こんな方におすすめ)

- ・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容

オリエンテーション。
「栄養経営士」に必要な能力について

1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

- 講 師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料(会場、DVDとも)：8,500円(税込)
- 時 間：10:00~17:00(予定)

会員価格

3,850円(税込)

2024年度 日程決定!

| 会 場 | 日 程 |
|-----|-----------|
| 大 阪 | 5月19日(日) |
| 福 岡 | 7月21日(日) |
| 東 京 | 11月17日(日) |

受講方法

- ①会場②Web(オンライン)
- 詳細・お申込みはこちらで
ご確認ください!▶



【お問い合わせ・資料請求】一般社団法人日本栄養経営実践協会 TEL03-3553-2903

くわしくは

検索